

つて居た。之れには貴族が居らぬ代り大資本家なるものが新に生れ平民の代りに労働者なるものが出来たのである。資本家と労働者の懸隔は、前の貴族・平民間の夫れにも優るものがあつた。

▲産業革命とは何ぞや

時は千七百七十年代、場所は歐洲大陸とは一葦帶水の英國に、慶すべく又況ふべき産業革命は起つたのであつた。夫れ以前までは蒸氣機関の發明もなかつたから交通の便利もなく從つて生産の規模も小さく、又紡績機械や彈綿機關の發明がなかつたから自家用の着物を紡ぐためには各自の家内において僅かな徒弟や職人と一緒に手車等の簡單な方法で生産に從事して居たものであつた。夫れが一朝諸島の繁榮がなされしも、生産の規模は著しく膨大し、雇人の数が膨増して之がため從前は主人と雇人どが親子の如き關係で温情の掬すべきものゝあつた主従關係が忽ち根底から破壊されて、水のやうに冷たい雇主と被雇人との關係となつて丁つた。左にその怖ろしい發明の主なるものを擧げる。

- 一七六四年 ハーフリーヴスの紡績機械(同時に八糸を紡ぐもの)
- 一七六九年 ワットの蒸氣機關
- 一七七一年 アークライトの水力紡績機械
- 一七七九年 クラムプトンの紡績機械
(ハーフリーヴス、アークライト兩式を折衷改良せるもの)

